



3月議会安道よし子の一般質問

放射能から子どもを守るために

原発事故から1年が経過。私は、放射能対策について改めて、市長の基本姿勢を質しました。

市長は「広島・長崎があり、放射能への国民の認識は強い。東京電力の事故による陸・海の汚染は深刻に受け止めている」と答えました。

市報でも測定結果の公表を

公共施設の側溝や雨樋などの測定では、数値の高かった17施設・37カ所、除染を行ったことを明らかにし、小中学校の結果は、間もなく出ると答弁。

各施設の測定結果は、「ホームページと市報で市民にお知らせすべき」と求めると、「今後、測定結果を市報でも周知する」と答えました。

子どもほど低線量被ばくによる晩



放射線量の測定中

発性障害の危険性が高いことから、私は、保育所や学校給食の放射性物質検査の実施を訴えました。

給食の放射能検査機器整備を

教育長は「市場に出回っている食品は安全」と答え、保護者の不安に応える姿勢が全くありません。各自治体では、食品検査を実施し、放射性物質検査機器の整備もすすめています。「給食は安全なのか」「牛乳が心配」などの声が相次いで寄せられています。

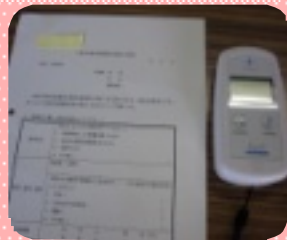
子ども・市民の健康を守ることは、自治体にとって最優先の課題です。

教育長は、「県が国の交付金を活用し食品検査機器を5台整備する。入間周辺に1台配置の見込み。入間はこれを活用し給食検査を実施したい」と答えました。

入間市もようやく給食の放射性物質検査の見通しがでてきました。

4月から市が簡易測定器3台の貸し出し開始

これまで繰り返し求めてきた「放射線量測定器の貸し出し」について質すと、「4月2日から測定器3台の貸し出しを開始する」と答弁。ホームページと3月15日号の市報で周知。電話受付は開始しています。測定器の貸し出しで、身近な場所の測定ができます。おおいに活用しましょう。



いつもはつらつ

あんどう

安道よし子の

No.27
2012年4月号

市議会通信



日本共産党市議会議員

南風が心地よい季節になりました。大震災から1年。被災地にも春が訪れていることでしょう。野田首相が強行しようとする消費税増税は、復興の努力に冷水を浴びせるようなもの。「消費税増税ストップ」の運動を大きく広げるためにみなさんと力を合わせががんばります。応援をよろしくお願いします。



グリーンガーデン前に信号機設置を

歩行者の安全のために横断旗の整備も要望

東藤沢にあるグリーンガーデン前の道路(国道463号線)は、交通量が多く横断が困難です。

東藤沢1・2丁目方面の人が、武蔵藤沢駅やグリーンガーデンを利用するには、道路を横断しなければならず、朝夕などは、車が止まらないため、横断の際は大変危険です。



地域から「信号機の設置」要望が寄せられました。私は、地域の方々と交通実態調査や、聞き取りを実施し、議会の一般質問で、「安全に横断できるように信号機の設置」を訴えました。

地域の方々と狭山警察署に要望書を提出。市担当課に申し入れも行いました。



信号機設置求め懇談

みなさんの声を届けて働きます

安道よし子の連絡先 どんなことでもお気軽にどうぞ
電話・Fax 04(2962)8082 携帯 090(4811)0553

生活苦に追い打ちかける負担増と制裁

3月定例市議会

介護保険料を18%も値上げ

3月議会では、日本共産党は3つの条例改正に反対し、その他の条例、道路認定、補正予算には賛成しました。

663円の値上げで月額4224円に

入間市介護保険条例の一部を改正する条例では、保険料改定が示され、保険料

基準額が現行の月額3561円から4224円に663円、18・3%もの値上げとなります。

後期高齢者医療の負担増と年金の支給が減額されるなかで、介護保険料の大幅値上げは、高齢者のくらしを壊しかねません。共産党は、滞納者への減免制度の拡充を求め、反対しました。

滞納者にサービス制限の制裁

入間市市営住宅条例の一部を改正する条例では、入居資格に「市税の滞納のない者」を加え、分割納付などで支払いの努力をしている人まで排除します。保証人についても現行は2人の「保証人」が、改正

では2人の「連帯保証人」とし、入居手続きのハードルを引き上げました。市民生活が厳しさを増すなか、市営住宅への入居を制限する条例改正は認められませんが、他会派により可決されました。

庶民への増税は認められない

市税条例の一部改正では、退職所得に対する10%控除を来年1月から廃止する内容が盛り込まれました。

共産党は「266兆円もの内部留保をため込んでいる大企業や大金持ちへの減税を続けながら、庶民にだけ増税を押しつけることは認められない」として反対しましたが、賛成多数で可決されました。

「リフォーム助成などで市民生活を応援する市政」を主張

24年度予算では、住宅耐震化工事の助成や全小中学校への教科指導員の配置、学校耐震化の前倒しなど、市民の要望が一部反映されましたが、「中3までの子ども医療費の無料化や住宅リフォーム助成制度の再開で市民のくらし最優先の市政」を求め、一般会計予算と国保・介護保険・後期高齢者医療・狭山台土地区画整理事業の4特別会計と水道事業会計予算に反対しました。

【新年度から実施される主な施策】

市役所本庁舎、消防庁舎、東町・高倉・黒須公民館など公共施設の耐震診断 要望の強かった全小中学校への教科指導員の配置 木造住宅耐震改修への補助制度の開始 空間放射線量測定器を3台追加購入し、市民への貸し出し開始などが実施されます。



中3までの医療費無料化を

「新日本婦人の会」など市民団体と日本共産党が制度の拡充を要請してきた子ども医療費無料制度は、4月から小3まで無料になりました。

近隣の自治体ではすでに中3まで無料になっていますが、入間市は具体的な見通しを全く示していません。

市民からは「なぜ入間市だけ遅れているのか」という声が寄せられています。基地交付金を活用して直ちに実施すべきです。

財政難を理由にしていますが、入間市は埼玉県下で4番目に借金が少なく、実施できない道理はありません。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員

被災地支援、ハザードマップの改善

小出わたる議員

消費税増税反対を、予防接種補助を

吉沢かつら議員

市民税減免制度、黒須公民館建て替え

安道よし子議員

給食の放射性物質検査の実施を

日本共産党市議会報告

2012年4月

発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883



すすむ学校耐震化

学校耐震化を前倒し実施

23年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ、6億7516万円を追加し、歳入歳出の総額を395億4507万円とするものです。

事業の主なものは、小中学校校舎の耐震化事業費の増額により、東金子小、新久小、黒須小、西武中の校舎耐震補強工事が前倒しで実施されます。

繰り返し求めてきた市民の要望が実現します。